



2022年12月22日

株式会社 阿波銀行

株式会社サイン・ハウスの「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社サイン・ハウス（代表取締役 新井 敬史、本社：東京都世田谷区）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社サイン・ハウス
所在地	東京都世田谷区玉川田園調布二丁目9番14号
代表者	新井 敬史
業種	バイク用品製造・販売業
設立	1987年2月18日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年12月22日



株式会社サイン・ハウス 代表取締役 新井 敬史

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	従業員のウェルビーイングの向上	心身ともに健康で、働きがいをもって働けるよう、社員の健康維持に努めるとともに、持続可能な働き方の実現をサポートします。	① ストレスチェックの実施		
			② 年1回実施		
環境・経済	環境に配慮した製品・サービスの提供	持続可能な社会の実現のために、環境に配慮した製品・サービスの提供に努めます。	① 環境配慮型パッケージの導入		
			② 2025年までに50%以上の製品に導入		
環境・経済	グリーン購入	環境負荷の小さい材料や消耗品の使用を推進します。	① 持続可能性を確認できる資材の利用拡大		
			② 2025年までに10件以上導入		
社会・経済	コンプライアンス	会社の信用とステークホルダーの利益を守るため、適切な組織体制の構築と意識の醸成を図ります。	① コンプライアンス研修の実施		
			② 年1回以上の研修開催		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。